

# 一般会計予算決算常任委員会記録

平成30年3月6日

【開催日】 平成30年3月6日

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前10時～午前11時2分

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	河野朋子
委員	伊場勇	委員	大井淳一朗
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	河崎平男	委員	笹木慶之
委員	水津治	委員	杉本保喜
委員	高松秀樹	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中村博行
委員	長谷川知司	委員	藤岡修美
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三	教育長	宮内茂則
総務部長	芳司修重	総合政策部長	川地諭
市民生活部長	城戸信之	健康福祉部長	岩本良治
産業振興部長	河合久雄	建設部長	森一哉
教育部長	尾山邦彦	文化・スポーツ振興部長	姫井昌
大学推進室長	松永信治	財政課長	篠原正裕
財政課課長補佐	山本玄	財政課調整係長	鈴木一史

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	主査兼庶務調査係長	島津克則
議事係長	中村潤之介	書記	原川寛子
書記	梅野貴裕		

## 【付議事項】

- 1 承認第1号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）に関する専決処分について
- 2 承認第2号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算（第7回）に関する専決処分について
- 3 議案第1号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について

---

午前10時 開会

---

矢田松夫委員長 ただいまから一般会計予算決算常任委員会を開会いたします。本日の審査日程は、お手元に配布してありますとおり進めてまいります。付議事項1番と2番については、歳入と歳出の分科会長報告を受けた後、質疑を受け、討論、採決を行います。付議事項の3番については、分科会ごとに報告を受け、質疑を行いますので、よろしくお願ひします。それでは付議事項の1番、承認第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第6回に関する専決処分について、総務文教分科会長の報告を求めます。

河野朋子総務文教分科会長 3月定例会において一般会計予算決算常任委員会に付託された承認第1号のうち、総務文教常任委員会所管部分について2月21日に委員全員出席の下、総務文教分科会を開催し、慎重審査をいたしました。その内容を報告いたします。概要は山口東京理科大学薬学部校舎建設事業のC棟空気調和設備工事工期が2か年度にまたがることとなったため、その予算措置について、平成29年12月25日付けで専決処分したもので、歳入として財政調整基金繰入金7,500万円の減額と大学校舎整備事業債を2億2,500万円減額するものです。

矢田松夫委員長 次に、理科大分科会長の報告を求めます。

高松秀樹理科大分科会長 2月26日に委員全員出席の下、委員会を開催し、慎重審査をいたしましたので御報告します。最初に承認第1号、平成29年

度山陽小野田市一般会計補正予算第6回に関する専決処分についてです。この承認第1号は、山口東京理科大学C棟空気調和設備工事及び危険物倉庫設置工事の入札手続を進めるためのもので、これら工事は入札不調により、平成29年度内に完成させることができなくなり、平成30年度までの工期設定をしなければならなくなりました。C棟空気調和設備工事は動物飼育に関わるC棟の主要工事であり、また、危険物倉庫設置工事はA棟、B棟及びC棟の実験排水等を処理するほか、薬学部の実験用薬品や実験廃棄物の保管のための施設で、いずれも速やかに再入札を行い、完成を急ぐ必要があります。しかしながら、入札手続を進めるためには予算の裏付けが不可欠であり、議会を招集する時間的な余裕がなかったため、地方自治法第179条第1項の規定により、平成29年12月25日に専決処分を行ったものです。このたびの補正予算では、C棟空気調和設備工事及び危険物倉庫設置工事の総事業費は5億円で、平成29年度の予算額は前払い金の2億円。平成30年度の予算額は残りの3億円としていますので、平成29年度予算額から3億円を減じて、平成30年度予算に同額を計上する予算操作をしています。歳入歳出予算ですが、2款総務費、7項大学費、1目大学費の84億9,746万4,000円を3億円減額し、81億9,746万4,000円とするものです。この減額により、当該事業における財源についても変更を行い、18款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金、1節財政調整基金繰入金の財政調整基金繰入金を7,500万円、21款市債、1項市債、1目総務費、2節大学費の大学校舎整備事業債を2億2,500万円減額しています。なお、減額しました3億円につきましては、同額を債務負担行為として設定しています。この承認第1号に関しては、さしたる質疑はありませんでした。

矢田松夫委員長 分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。質疑なしと認めます。承認第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第6回に関する専決処分についての討論を行います。討論はありませんか。

山田伸幸委員 承認第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第6回に関する専決処分について、賛成討論を行います。本承認議案はC棟建設の年度の繰越しがメインとなっています。そもそもC棟は平成29年度2月末に完成し、引き渡されるべきものでした。ところがC棟の空気調和設備工事については、当初から設計ミスによって入札の不調が繰り返されました。工期も間に合わないという事態を生んだわけです。し

かし、今回の承認議案は入札も正規な入札を繰り返しており、結果として、工期に間に合わないという事態も生み出しましたが、正規の努力が繰り返され、このたび議案として提出されたものです。以上を理由として賛成とします。

矢田松夫委員長 ほかに討論はありませんか。討論を終わります。これより、承認第1号について、採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

矢田松夫委員長 全員賛成により、本件は承認すべきものと決定しました。次に付議事項の2番、承認第2号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第7回に関する専決処分について、総務文教分科会長の報告を求めます。

河野朋子総務文教分科会長 承認第2号についても、2月21日に委員全員出席の下、総務文教分科会を開催し、慎重審査をいたしました。その内容を報告いたします。概要は山陽小野田市商工センターの外壁の一部にタイルの欠落が確認され落下の危険性があるため、早急に取り除く必要があることから、その予算措置について平成30年1月9日付けで専決処分したもので、歳入として財政調整基金繰入金1,700万円を増額するものです。質疑は特にありませんでした。

矢田松夫委員長 次に、産業建設分科会長の報告を求めます。

中村博行産業建設分科会長 承認第2号について、2月23日に委員全員出席の下、産業建設分科会を開催し、慎重審査をいたしました。その内容を報告いたします。概要は山陽小野田市商工センターの外壁の一部において、タイルの欠落が確認されたため、急きよ、外壁調査を行った結果、「2階の上部付近から上の階については、全体的に浮いており、状態がとてつ悪い。タイルとモルタルが剥離した状態であり、振動での剥離や自然落下の可能性がとてつ高い」との調査報告を受け、危険な状態であることが判明した。この施設は年間約1万人以上の利用者があり、早急にこれを取り除く必要があることから平成30年1月9日付けで専決処分を行い、地方自治法第179条第3項の規定により、議会に報告し、承認を求めるものである。補正の内容は、歳入歳出予算総額に歳入歳出

それぞれ1,700万円を増額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ353億8,317万3,000円とするもの。歳出では7款商工費、1項商工費、5目商工センター運営費を1,700万円増額し、補正後の額を2,701万8,000円とするもので、全額15節工事請負費である。なお、外壁調査については、緊急性を有していたので当施設の施工業者である嶋田工業株式会社に委託し、施工についても早急な対応と工事期間中の安全を考慮して、嶋田工業株式会社と契約を締結した。契約期間は平成30年3月31日までである。「工事の面積は」との質問に「638平米である」との答弁。「耐震化は大丈夫か」との質問に「耐震化は行っていない。このたびの外壁工事の結果を見て早急に対応を検討したい」との答弁。「今後の耐震化などで、二重投資、経費の無駄遣いにならないか」との質問に「そのことも考慮して、今回は緊急性のある人が通る危険な箇所だけとした」との答弁。「築何年になるのか」との質問に「昭和54年の建築であり、築39年である」との答弁。「工期が3月31日で間に合うのか」との質問に「工事自体は間に合うと思うが、検査まで見込むと間に合わない可能性があるので、一般会計補正予算第8回の繰越明許で提案する」との答弁がありました。

矢田松夫委員長 分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

山田伸幸委員 以前保健センターや市民館などで、外壁剥離が発生し、その際に、外壁剥離のおそれがある建物については検査を行っていたという報告を受けたように思っていますが、その際に、当該施設の調査は行われていたのかどうか、その点はいかがだったのでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 耐震化等の質疑があり、似たような施設がほかにもあるかという質問はありました。担当課では、自分の所管している部分についてはないという答弁でした。それ以上のものはありません。

山田伸幸委員 工事の面積が638平米ということですから、全体ではないんですね。あの建物は全体がタイルで貼り付けられた建物で、今回剥離があった付近だけ工事をされたのかどうか。全体の調査はどのようにされているのかを伺います。

中村博行産業建設分科会長 二重投資にならないかということも含めて、一番危険である、正面駐車場に面するところだけをやるということで説明が

ありました。それ以上はありません。

山田伸幸委員 この建物は昭和54年に建築されたということですが、これは新耐震基準以前の建物ということで、耐震診断の対象の建物であると思いますが、なぜ、その建物に対して耐震診断をしていないのかという質疑はありましたか。

中村博行産業建設分科会長 なぜしていないのかというところまでの質疑はありませんでした。ただ、これによって耐震化を検討したいという答弁はありました。

矢田松夫委員長 ほかに質疑はありませんか。質疑を終わります。承認第2号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第7回に関する専決処分についての討論を行います。討論はありませんか。討論なしと認めます。これより、承認第2号について、採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

矢田松夫委員長 全員賛成により、本件は承認すべきものと決定しました。次に付議事項の3番、議案第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第8回について、最初に総務文教分科会長の報告を求めます。

河野朋子総務文教分科会長 議案第1号の総務文教分科会所管部分について報告します。今回の補正は決算を見込んでの補正で、主なものとして、歳入では分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫支出金、県支出金、諸収入、市債、寄附金、繰入金について、歳出では総務費におけるふるさと支援基金積立金、消防費における報償費、教育費における埴生小・中学校整備事業工事請負費埴生地区複合施設整備事業工事請負費、学校給食共同調理場建設事業備品購入費、学校給食共同調理場建設事業の一部を翌年度へ繰り越すための繰越明許費の設定についてである。審査で明らかになったことは、歳入では寄附金2,823万円の増額ですが、これは主にふるさと寄附金2,000万円の増額によるものです。次に繰入金として財政調整基金繰入金2億9,676万3,000円の増額ですが、その結果、補正後の基金残高は31億1,457万1,000円になるとのことです。続いて市債2億7,420万円の減額ですが、それは埴生小学校整備事業調査設計委託料などの減額により、小学校債

4, 650万円を減額したこと及び埴生地区複合施設整備事業設計委託料、土地造成工事費の減額による社会教育債6, 090万円を減額したことなどによるものです。次に歳出ですが、まず人件費全般については一般会計全体で4, 888万6, 000円の増額となります。そのうち給料は340万円の増額になりますが、増額理由は議案第12号山陽小野田市職員給与条例の一部改正及び議案第13号山陽小野田市長等の給与に関する条例の一部改正によるものです。また、職員手当等は4, 216万円の増額になりますが、その理由は議案第12号山陽小野田市職員給与条例の一部改正、議案第13号山陽小野田市長等の給与に関する条例の一部改正及び普通退職者が5名出たことによるものです。続いて総務費ですが、ふるさと支援基金積立金2, 000万円の増額となります。これは平成29年度当初予算2, 000万円であったものが、現在3, 698万8, 000円のサポート寄附があったためです。「ふるさと寄附金は、目標額を大きく上回ったが、一方、他市に出ていった金額は」との問いに、「平成28年度市民が他市町村にふるさと納税をしたのは534人、4, 660万3, 547円である」との答弁がありました。次に消防費の報償金960万5, 000円の増額ですが、これは消防団員9名の退団があったが、幹部団員や勤続年数の長い団員の退職者が増えたことによるもので、「団員の補充はどうか」との問いに「約10名の入団希望者があり、数名の学生団員が入ってくるので、平成29年度当初より若干増えるのでは」との答弁がありました。続いて教育費ですが、埴生地区複合施設整備事業のうち地質調査委託料284万3, 000円の減額となっていますが、これは国土交通省との協議の結果、国道に面した擁壁のかさ増しを行わないこととなったためによるもので、「敷地面積等の変更はないのか」との問いに「敷地面積に変更はないが、外構工事に影響が出る」との答弁がありました。次に繰越明許費ですが、学校給食共同調理場建設事業6億4, 583万6, 000円が繰越明許となっています。これは建築主体工事、附帯工事の職人不足が発生し、建築主体工事、附帯工事のみ今年度中に完成見込みで、電気設備工事、給排水衛生ガス設備工事、空気調和設備工事の三つの工事と、厨房機器の設置作業の完成が4月下旬にずれ込む見通しとなったため、「工事に遅れが出るということだが、最終工期は間に合うのか」との問い「9月3日が本格オープンだが、7月末に工事完了で今のところ変更はない」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

矢田松夫委員長 分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。



山田伸幸委員 国道に面した擁壁のかさ増しは行わないということですが、外構工事に影響が出るというような報告をされています。どのような影響が出るのかお答えください。

河野朋子総務文教分科会長 今回のことによって、予算的には減額となりましたが、今後の外構工事の詳しいことは審査していません。

山田伸幸委員 繰越明許の中で学校給食共同調理場建設事業について、職人不足が発生しているということですが、話に聞けば、理科大の工事に当たった関係業者が給食センターの工事に当たっていて、工期に間に合わせるために、そちらに連れて行ったのではないかということですが、そもそも入札の段階で大きな工事を幾つも取るということにより、こういう影響が出たのではないかと思うわけですが、そういった質疑はどうだったのか、きちんと発注した工事が契約どおり施工されるということが必要だと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

河野朋子総務文教分科会長 理科大の関係で給食センターが遅れたのではないという趣旨の質問だと思いますが、分科会の中で理科大の影響で遅れたのかという質問もなく、それに関して執行部からの説明もなく、職人不足により工事が遅れたという説明にとどまっています。

山田伸幸委員 この問題は大変大きな問題なんですね。市の入札行政の在り方が今問われているわけです。発注する側も、今どういう事業を入札に応札してきた業者が受注しているのか、あるいは今後受注予定なのかという点まで把握した上で、発注をすべきだと思うんですが、そういったことが所管の委員会できちんと審議されていないのは問題だと思います。きちんとした審査がされなくてはいけないんですが、これは事前の調査等でも、そういった事実関係について、委員長に対して報告等はなかったんでしょうか。

河野朋子総務文教分科会長 繰越明許費としてあるということ、事前に委員会として承知していませんでした。また、御指摘のような行政全体の問題、入札の在り方という点については十分に理解できますし、今後、議会として取り組んでいかななくてはいけないと思っておりますが、今回の繰越明許の中で、当時の入札や工事関係について、そこまで掘り下げた審査とはなっていません。

矢田松夫委員長 ほかに質疑はありますか。質疑を終わります。次に民生福祉

分科会長の報告を求めます。

吉永美子民生福祉分科会長 議案第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第8回の民生福祉分科会担任事項について、2月22日委員全員出席の下、慎重審査しましたので報告します。概要について、今回の補正は、人事院勧告に準じた人件費の調整、病院事業会計への繰出金、決算を見込んでの委託料の減額、入札減による備品購入費や工事請負費の補正などです。審査によって明らかになった事項について報告します。2款総務費、1項総務管理費の調査委託料減額のうち、73万8,000円は、空家等対策調査業務委託の入札減によるもので、「空家実態調査の活用方法と今後の予定は」との質問に「3月開催の空家等対策協議会に報告したり、他の部署と連携できる数字として活用したい。次期実態調査は5年後の計画見直し時に行いたい」との答弁がありました。3款民生費、1項社会福祉費の耐震診断委託料364万円の減額は、中央福祉センター耐震診断の入札減によるもので、「Is値と今後の対応は」との質問に「横方向1階のIs値が0.35、2階が0.43、縦方向1階が1.11、2階が1.46で、横方向の値が低いですが、個別の施設の計画を全庁的に調査している段階なので、その中で今後の方向性について見出していきたい」との答弁がありました。同項臨時福祉給付金費の償還金1,103万円は国庫補助金の超過分を返還するもので、「対象者への給付の努力状況と給付率は」との質問に「広報紙での呼び掛けを1回、該当者と思われる方々に申請書を郵送した。ホームページにも掲載し、締切り間際に未提出者へ再度申請書を送付して申請を促した。給付率は高齢者向け給付金が95.9%で、宛先不明による不到達件数が60件、障害・遺族年金向け給付金が88.54%で、宛先不明分はない」との答弁がありました。3項生活保護費の扶助費8,000万円の減額は生活保護受給者の減少に伴うもので、「人数と減った要因は」との質問に「被保護人員が平成28年4月現在906人、29年4月が859人、30年1月が803人である。廃止件数が平成27年度で62件、28年度で72件、29年度1月末までで73件で、開始件数よりも若干廃止件数が上回っていることが要因である」との答弁がありました。4款衛生費、1項保健衛生費の病院事業会計繰出金3億5,000万円について、「病院局との協議状況は」との質問に「担当課が12月及び1月に二、三回協議に参加し、病院局からは新病院改革プランが示され、今後も収益を上げるために努力するとの確認を行った」との答弁がありました。「担当課と財政課は、基準外繰出しは今回限りだと考えていると捉えてよいか」との質問に「現在のプランの範囲では当然

ないと考えている」との答弁がありました。同項 2 目予防費の委託料 2, 098 万 6, 000 円の減額は、決算を見込んで予防接種委託料 1, 032 万 2, 000 円の減額及び健康診査委託料 1, 066 万 4, 000 円の減額で、「減額となった理由は」との質問に「予防接種については見込んだほど子どもの対象者がいなかったが、接種率は高いと考えている。健康診査委託料については、胃がん検診が昨年度から 2 年に 1 回となったが、昨年同様の人数の受診があると考えていた。子宮がん検診では、コルポ拡大鏡での検診を 280 件程度予算化したが、29 年度実績が 1 件もなかったので、大幅減額となった」との答弁がありました。2 項清掃費の備品購入費 621 万円の減額は、ホイールローダという資源ごみをトラックに積み込むための重機の入札減で、「今回初めて買ったのか。予定価格は」との質問に「以前の購入から 25 年近く経て欠陥が出ており、1, 625 万 4, 000 円の予算で新車を購入しようとしたところ、入札額が 1, 004 万 4, 000 円となった」との答弁がありました。最後に債務負担行為補正について、必須事業の「生活困窮者自立相談支援事業」と任意事業の「生活困窮者就労準備支援事業」の 2 事業を平成 30 年度も実施するに当たり、臨時職員の賃金程度であったものを任期付職員程度の賃金が妥当との判断をして人件費の見直しを行った結果、委託料限度額の増額となったとの説明で、「何名か」との質問に「生活困窮者自立相談支援事業が相談員 2 名、生活困窮者就労準備支援事業が 1 名」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

矢田松夫委員長 民生福祉分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

藤岡修美委員 中央福祉センター耐震診断の結果で、横方向の I s 値が低いということで、それに対する回答が「個別の施設の計画を全庁的に調査」というのは、市が持っている公共施設の耐震診断の結果を待って、中央福祉センターの耐震工事をするかどうか、それとも順番付けをするのか、その辺が分かりにくいのですが。

吉永美子民生福祉分科会長 順番付けという話はありません。公共施設の再編計画を作っている状況であるということで、来年度から個別の計画を作っていくようになると思う。その中で、この施設だけではなくて、あらゆる施設について、今後どのようにするのか、基本的に長寿命化になると思うが、そういう対応をとっていきたいということで、今後の計画をしていくということで、順番付けをしているというような答弁はござい

ません。

矢田松夫委員長 ほかに質疑はありますか。これをもって質疑を終わります。  
次に産業建設分科会長の報告を求めます。

中村博行産業建設分科会長 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第8回について、2月23日に産業建設分科会を開催し、慎重審査をしましたので報告します。今回の補正は、山陽小野田市職員給与条例の一部改正に基づく職員給与の増額のほか、決算を見込んだ調整、入札減による不用額の減額、繰越明許費が主である。質疑によって明らかになった事項として、4款衛生費、1項保健衛生費、3目環境衛生費、19節負担金、補助及び交付金、浄化槽設置整備事業補助金1,389万4,000円の減額は決算見込み額が1,779万2,000円となることからの減額である。当初、5人槽46基、7人槽37基、10人槽2基の合計85基分を予定していたが、決算見込み5人槽27基、7人槽20基、10人槽1基の合計48基分とした。補助金の額は1基当たり5人槽33万2,000円、7人槽41万4,000円、10人槽54万8,000円である。「想定外の減り方だったのか」との質問に「想定外である。公共下水道事業の計画区域内の新築工事は増えたが、それ以外が減っているとしか推測できない」との答弁がありました。「浄化槽設置事業で、区域外の面積はどのくらいか」との質問に「下水道を整備する全体計画面積2,845ヘクタールのうち約半分の1,416ヘクタールが浄化槽で整備する予定区域である」との答弁がありました。次に6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費、19節負担金、補助及び交付金2,151万3,000円の減額について、まず、農地集積協力補助金354万9,000円の減額は一部の地区で集積を取りやめたことによる。次に新規農業就業者定着促進事業補助金162万5,000円の減額は、新規就農者の雇用又は構成員としての受入れを2法人で12人予定していたが、要件不十分により交付対象者が10人となったもの。次に産地パワーアップ事業補助金1,633万9,000円の減額は、入札減による不用額の減額である。4目農地総務費、28節繰出金、農業集落排水事業特別会計繰出金14万5,000円の減額は決算を見込んだもの。5目土地改良事業費、13節委託料、換地業務委託料96万4,000円の減額は決算を見込んだもの。19節負担金、補助及び交付金、県事業負担金3,155万4,000円の減額は各事業において、国の内示に伴う減額等によるものである。3項水産業費、3目漁港建設費、13節委託料、計画策定委託料588万8,000円の減額は

入札減による不用額の減額。15節工事請負費3,500万円の減額は植生漁港整備工事費で国の内示に伴う減額である。「産地パワーアップ事業費補助金の減額は入札減とのことだが、市で入札をしたのか」との質問に「事業主体のグリーンハウスが入札の手続をされた」との答弁。「その入札は、市に準じたものか」との質問に「グリーンハウスのホームページ等に広告され、市も立会い、市と同様な手続で進められた。最終的には、1者の参加であったと記憶している」との答弁。「産地パワーアップの事業で、農業振興上、今後、市から補助金を出す考えはないか」との質問に「山口宇部地区農業推進協議会の中でそのような取組が図られており、そちらからの申請で、この事業が流れている」との答弁。「農地集積協力補助金で辞退された理由は」との質問に「1地区で相続が数件発生し、同意の手続に期間を要することから、今年度での集積を取りやめられた」との答弁。「後潟の土地改良事業で、受益者は何人か。また換地業務委託は全て終了ということか」との質問に「後潟のほ場整備事業の受益者は80人。換地処分までできる設計で、事業終了は31年度である」との答弁。「この事業の受益者負担割合は」との質問に「4%程度になる」との答弁。「県事業負担金で、事業について減額の金額が違う根拠は」との質問に「事業ごとに内示があることによる」との答弁がありました。7款商工費、1項商工費、1目商工総務費を742万6,000円減額し、補正後の額を1億7,442万1,000円とするもので、人件費関係を除いた補正は全額19節負担金、補助及び交付金の768万円の減額である。内訳は地方バス路線維持費補助金を実績に基づき768万7,000円減額するもので、主な理由は当初見込みより燃料費の上昇が低かったことによる。バス活性化システム整備費補助金7,000円の増額は、宇部市交通局への市内の営業キロ数に応じた本市の負担分である。2目商工振興費では4,100万円減額し、補正後の額を2億5,714万4,000円とするもの。内訳の21節貸付金3,900万円の減額、22節補償、補填及び賠償金200万円減額は共に今年度の実績に基づいてのもの。主な質疑として「バス路線維持費補助金申請の提出期限は」との質問に「12月までとなっている」との答弁。「補助金について、財源内訳が県支出金と一般会計となっているが、補助割合は決まっているのか」との質問に「それぞれ路線ごとに補助の基準があり、実績に応じて支出し、収入分である利用者運賃を引いたもので出すようになっている」との答弁。「財源内訳について、県が増額、市が減額となった理由は」との質問に「県の要綱が変更になったこと等による」との答弁。「中小企業関係の減額は利用者がいないということか」との質問に「現時点で、中小企業振興基金は14件の利用があ

り、最終的には昨年度と同様17件程度と見込んでいる。中小企業振興資金については、当初予算1億5,000万円のうち1億1,600万円が預託済みである」との答弁がありました。8款土木費について、このたびの補正は、決算を見込んでの減額補正である。1項土木管理費、1目土木総務費、19節県事業負担金330万2,000円の減額は、市内3か所で実施されている市が10%負担する急傾斜崩壊対策事業について、決算を見込んで不用額を減額するもの。2項道路橋りょう費、3目道路橋りょう維持費、15節工事請負費473万4,000円の減額は、今年度市道リフレッシュ事業2件について入札の結果、不用額が生じたため、その額を減額するもの。4目道路新設改良費、13節工事委託料1,683万9,000円の減額及び22節の補償金100万円の減額は国の防災・安全交付金等を活用した事業を行ったが、国の示す補助対象事業費の内示額に併せて、不用額を減額するもの。3項河川費、1目河川管理費、13節調査設計委託料30万8,000円の減額は、今年度土砂災害ハザードマップを更新する作業での入札による不用額を減額するもの。15節工事請負費1,953万9,000円の減額は、東下津排水機場にポンプを増設する工事の進捗状況に応じて、不用額を減額するもの。19節県事業負担金251万8,000円の減額は、市内2件の事業について、市が10%から30%の負担をすることになっているが、県が示した決算額を見込んで不用額を減額するもの。4項港湾費、1目港湾管理費、19節県事業負担金1,508万3,000円の減額は、県が小野田港の護岸補強などを実施している、市が10%から25%の負担金を支出する事業で、県が示した決算額を見込んで不用額を減額するもの。5項都市計画費、1目都市計画総務費3,496万4,000円を減額補正し、補正後の額を11億5,606万7,000円とするもの。13節委託料、調査委託料384万4,000円の減額は入札減、19節負担金、補助及び交付金、県事業負担金1,106万9,000円の減額は県の事業費と本市の負担金の額が確定したもの。28節繰出金、下水道事業特別会計繰出金1,517万8,000円の減額は、システム開発委託料の減額など歳出の減額や使用料収入の増収など歳入の増額によるもの。同じく28節繰出金、駐車場事業特別会計繰出金508万9,000円の減額は、今年度実施予定の機器類の更新を取りやめたことと、駐車場使用料が増額となったことによる。6項住宅費、1目住宅管理費1,166万2,000円を減額し、補正後の額を1億9,171万1,000円とするものである。内訳は、13節委託料、耐震診断員派遣業務委託料について、当初20件の実施を予定していたが、申込みが18件となったため、12万4,000円を減額す

るもの。15節工事請負費については設計の精査や入札差金によるもので、補助事業等の精算を見込み、1,188万5,000円を減額するもの。19節負担金、補助及び交付金については、申請を受け付けた事業が限度額に達しておらず、精算を見込み29万5,000円を減額するものである。「津布田海岸のヘドロ除去が予算額にあって、決算見込み額がゼロになっているのはなぜか」との質問に「昨年度に十分やっていたので、本年度はその必要がなかった」との答弁。「焼野海岸について、予算額に対し決算額が少ない理由は」との質問に「主に砂を押し工事だが、今年度は押し上げられた砂が少なかったことと、落札減による」との答弁。「県事業負担金で、公園通りの道路拡張の進捗状況は」との質問に「国の交付金の額が要望の60%程度の状況で、少し遅れてはいるが、全体的には予定どおり進めていくと県からは聞いている」との答弁。「新開作二軒屋線について、完成予定はいつ頃か」との質問に「現在の計画では平成32年度を予定していると聞いている」との答弁。「耐震診断及び改修事業の補助金について、要望や申請数はどうか」との質問に「毎年1件の限度額で予算措置をしているが、要望はゼロか1件の状況である」との答弁がありました。次に繰越明許費の商工センター改修事業について、7款商工費、1項商工費、商工センター改修事業1,025万6,000円は、承認第2号で報告した専決処分の工事について、今年度内の完了を予定していたが、利用者の安全を確保しながら工事を進める必要があることから年度内の完成、完了検査が困難となり、繰越明許するものである。繰越額1,025万6,000円は契約金1,695万6,000円のうち、前払金670万円を支払う予定の残りの額である。防災・安全対策交付金事業について、8款土木費、2項道路橋りょう費、防災・安全交付金事業の繰越明許費6,733万3,000円は、国の防災・安全交付金等を活用した事業のうち、年度内に事業が完了しない4事業、市道高泊千崎線通学路安全対策工事、前場川周防高潮対策工事の市道浜崎1号線船出橋、市道上木屋梅の木線通学路安全対策工事、市道新生1号線道路改良工事について、繰越しを行うもの。東下津地区内水対策整備事業について、3項河川費、東下津地区内水対策整備事業の繰越明許費4,601万1,000円は、年度内に事業が完了しない工事について、繰越しをするもの。小野田駅前地区都市再生整備計画事業について、5項都市計画費、小野田駅前地区都市再生整備計画事業費6,051万9,000円は、今年度購入を予定していた公園等の事業用地について、売買契約及び補償契約は完了しているが、転居や補償物件の撤去に時間を要していることから事業の一部を繰越しとするものです。「繰り越すことについて、国や県との協議はし

ているか」との質問に「国、県との協議は済ませている」との答弁。「繰越明許は、今後工事の進捗によると思うが、完成する予定か」との質問に「精査しているので、平成30年度には今の工事の全てではなく、工区では完成する」との答弁。「繰越しが繰り返されて、最終的に事業が潰れることはないか」との質問に「繰越しは制度であり、全体事業に対しては完了する予定である」との答弁がありました。以上で報告を終わります。

矢田松夫委員長 産業建設分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

山田伸幸委員 商工費の中でバス路線維持費補助金の減額がありました。説明では実績に応じて支出し、収入分である利用者運賃を引いた金額を出すようになっているという答弁がされたという報告ですが、バス路線については総括ではなくて、路線ごとに利用率や乗車人員の状況がきちんと決められているわけですが、そういった報告、若しくは資料の提供はあったのでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 詳細な資料提供及び審査はしていません。

山田伸幸委員 バス路線については注目されていますし、その中身を精査すべきであると思います。バス路線の状況を今後担当課において精査をしていくという事業費も計上されているわけですから、現在の状況を委員会としてきちんと精査すべきであったと思いますが、いかがでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 もちろん当委員会の最重要課題と考えていますので、勉強会等を含めて、これについてはやりましたし、新年度にも関係予算があります。この問題は市民サービスの上で一番重要な案件と委員も認識していますので、しっかりやっていきます。

矢田松夫委員長 ほかに質疑はありますか。これをもって質疑を終わります。次に理科大分科会長の報告を求めます

高松秀樹理科大分科会長 議案第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第8回についての当分科会担任事項について、2月26日に慎重審査をしましたので報告します。今回の補正は、平成29年度の人事院



勧告に基づき給料表の改定が行われることに伴い、3節職員手当等、時間外勤務手当を1万円増額するものです。また、山口東京理科大学薬学部校舎建設事業に対し、企業版ふるさと納税による寄付金を650万円充当することにしましたので、当該事業の財源を組み替えることにし、その他の財源として、当該寄付金650万円を増額し、地方債の市債を490万円、一般財源を159万円減額しています。この担任事項について、さしたる質疑はありませんでした。

矢田松夫委員長 理科大分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。質疑なしと認めます。議案第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第8回についての討論を行います。討論はありませんか。

山田伸幸委員 議案第1号、平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算第8回について、反対討論を行います。主に反対の理由は二つです。一つは給食センターの工事が遅滞なく行われるべきですが、これが予定より遅れていること。もう一つは、病院会計への繰出しが3億5,000万円も基準以外に繰り出されていること。以上の2点を理由として反対討論とさせていただきます。

矢田松夫委員長 ほかに討論はありますか。これをもって討論を終わります。これより、議案第1号について、採決いたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

矢田松夫委員長 賛成多数により、本件は可決すべきものと決定しました。以上で委員会を閉会いたします。

---

午前11時2分 散会

---

平成30年3月6日

一般会計予算決算常任委員長 矢 田 松 夫